

第2回地域授業改善協議会 参加者アンケートより

自由記述の回答分析

成果

- **他校の実践から多くの学びを得た**
授業づくりの工夫、研究主題の設定、生徒との共有方法など、具体的な事例を知ることができた。
- **自校の取り組みの見直しにつながった**
他校の実践を知ること、自校の強みや課題を客観的に見つめ直す機会となった。
- **異校種・異規模の交流が有益であった**
小学校と中学校の先生方との交流を通して、子どもの捉え方や指導方法の違いを知ることができ、視野が広がった。

課題

- ◆ **グループ交流の時間不足**
グループ討議の時間が短く、十分に意見交換ができなかったという意見があった。
- ◆ **研修内容と演習の関連性**
一部の参加者は、演習の目的が分からず、研修全体のテーマとどう関連するのか理解しにくかったと回答。
- ◆ **対面開催**
すでに周知されている内容の研修であり、Zoomなどオンラインでも十分ではないかという意見があった。

第2回地域授業改善協議会 参加者アンケートより

自由記述の回答分析

参加者が各校で取り組みたいこと

- 校内での情報共有と還元: 校内全ての教職員が主体的に関わることができるよう、今回の研修で得た学びを校内の教職員と共有し、今後の校内研修に活かす。
- より実践的な授業改善: 生徒の具体的なつまづきをイメージして授業構想を考える等、効果的な授業改善を行う。
- 研究計画期間の再検討: 1年だけでなく、2～3年かけてじっくりと取り組む中長期的な研究計画を立てる。
- 児童生徒との共通理解: 研究主題や目指す子ども像を、キーワード化や図化などを用いて、分かりやすい形で児童生徒と共有する。